

常陸大宮市

公園づくり

ワークショップ

常陸大宮駅西交流拠点の「魅力ある公園づくり」2021/2/27

ワークショップの注意事項について

- ・会場内での飲食はご遠慮下さい
- ・途中に休憩時間の予定が無い為、事前にお手洗い等はお済ませ下さい
- ・お子様のおむつ交換をされる際は、多目的トイレをご利用下さい
- ・気分が悪くなった方は、遠慮なく周囲にいるスタッフまでお声がけ下さい
- ・記録の為、主催者側で録音や撮影を行わせて頂きます
- ・お配りしたアンケート用紙は、ワークショップ終了後に回収いたします

はじめに

常陸大宮市役所 都市計画課 課長より

ご参加される皆様への挨拶

常陸大宮駅西交流拠点整備の概要について

【3つのコンセプト】

- ・にぎわいの創出 ～みんなが集まる、子育て支援や多世代交流の場～
- ・インクルーシブパークの整備 ～誰もが一緒に楽しく過ごせる場～
- ・防災機能の充実 ～いざという時、さまざまな役割を担う場～

今日のワークショップは

みなさんの

「こんな公園になったらいいな」

のアイデアをたくさん出し合う場です

大事なことは

- 楽しむこと
- それいいね！の気持ち

今日のワークショップのすすめかた

13:30 スタート

13:35 本日のワークショップについての説明 （← いまここ）

13:40 みなさんの ひとこと自己紹介

13:55 にぎわいの創出、インクルーシブパークや公園防災についての情報インプット

14:15 グループワーク 3つ

15:10 発表・まとめ

15:30 終了予定

ひとこと自己紹介

- ・お名前
 - ・参加した理由
 - ・常陸大宮の好きなところ
- をひとことで

情報インプット

にぎわいの創出、
インクルーシブパークや
公園の防災について

～みんなが集まりたくなる公園～
にぎわいを生み出そう！！



●駅前という立地を活かした
新たな魅力づくり

●女性と子ども達に
目を向けた交流拠点





インクルーシブ・パーク

「インクルーシブ・パーク」

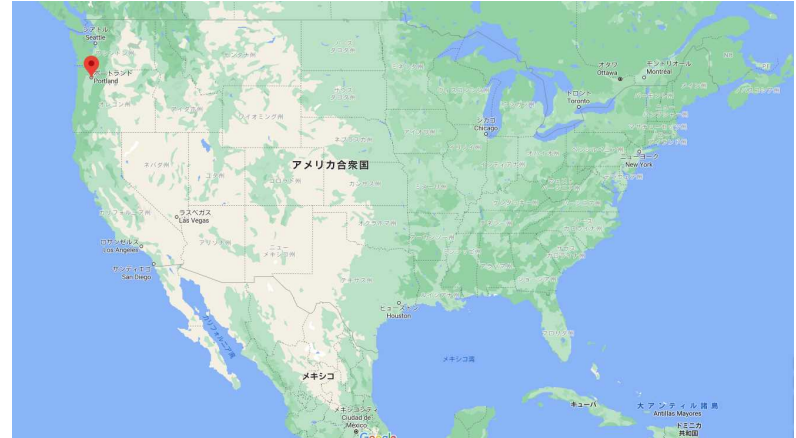
あらゆる人が、受け入れられ、楽しめる場

公園で一緒に遊ぶ時間を共有する中で、
多様な子や保護者が、関わり合い、理解しあえる
「共生社会」のハブとなる場

インクルーシブ・プレイグラウンド 事例①

アーバー・ロッジ・パーク(米国 ポートランド州)

パーパーズ・プレイグラウンド





POINT

誰もが自由に園内を
快適に移動できる

誰もが遊び易い遊具
や、時にチャレンジ
を必要とする遊び要
素を合わせ持つ遊び
場。

子ども同士が一緒に
遊んだり、場を共有
して一体感を感じら
れる遊び場



写真提供

 **PARKFUL**

日本全国の公園の魅力を発信するWEBメディア



POINT

大人もリラックスして見
守り、過ごせるような日
影や腰かけ

様々な人々の交流を促
す公園のゾーニング

木々やアート作品など、
様々な人々が楽しめる
工夫

写真提供

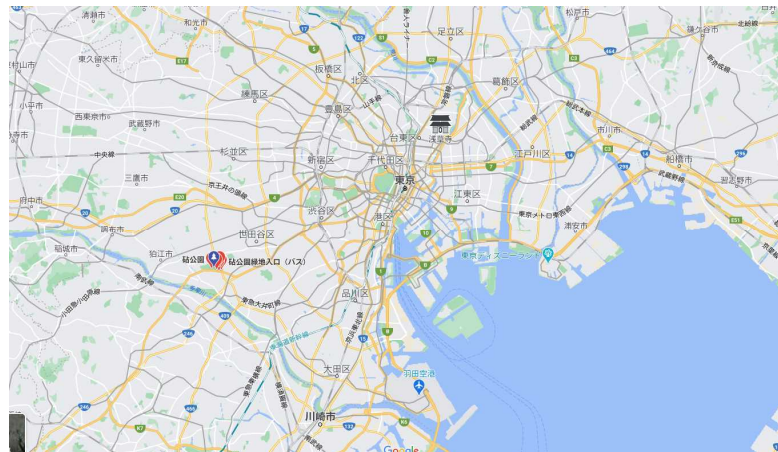


日本全国の公園の魅力を発信するWEBメディア

インクルーシブ・プレイグラウンド 事例②

東京都立 砧公園(東京都 世田谷区)

みんなのひろば



Google Mapsより

ここはだれでも遊べる 「みんなのひろば」です！

船型遊具「みらい号」

車いすの子どもたちも「乗船」し、
滑り台で遊べる遊具です。

この広場を目指すのは、障がいのある子どももみんながたのしく遊べること。
そしてこの場所が、子ども同士はもちろん、大人のみなさんにとっても、
多様性を身近に感じる、新しい出会いの場になることです。

だれもお互いに尊重し合い、いきいきと暮らす社会へ、みんなで歩いていきましょう。



POINT

あらゆる子どもが楽しく遊べる場。
多様性を身近に感じる「出会いの場」
である事を伝える看板



POINT

広々とした空間に色々な遊具を配置し、たくさんの遊びが用意されている。

園内を回遊することができる園路

遊具の周囲の地面をゴムチップ舗装にするなど、安全性の高い遊び場になっている



POINT

介助する大人も見守りやすいよう、大きな日除けやたくさんのベンチなどが用意されている

インクルーシブ・パークってこんなところ

①平等な空間

- ・公園は誰にとっても平等であるべき。全ての人が安全に、自由に公園内を回遊できる「空間」

②集いの場

- ・あらゆる人が歓迎され、全ての人が居心地よく受け入れられる「場」
- ・幼いうちに多様な人と交流を持つ体験をし、自分と違う人を理解する気持ちをはぐぐむ「場」

③みんなの遊び場(インクルーシブ・プレイグラウンド)

- ・障害の有無に関わらず、みんなが「一緒に」遊べる工夫がされている「遊び場」
- ・様々な能力を持った子がそれぞれの能力でチャレンジや体験をする事ができる「遊び場」



～なぜ、公園に防災機能が求められるのか～

いざという時のために



小規模な公園から国立公園まで、大小さまざまな公園がありますが、そのなかに防災機能をもった公園があるのを、ご存じでしょうか。

単なる公園ではなく、食事の炊き出しやトイレ、照明、生活用水など、“いざ”というときに大活躍します。

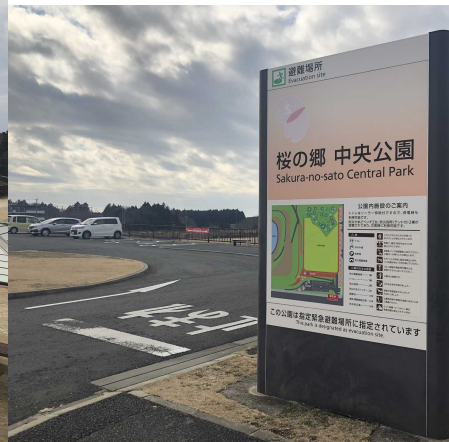
全国で、災害時に様々な役割を果たす設備が備わっている公園が増えてきています。



防災機能がある県内公園の事例

茨城町 桜の郷中央公園

遊び、憩いの場とともに、
防災機能も備えており、
災害時に利用できるかまどベンチや、
防災四阿、倉庫等が完備されています。



■公園にあるいろんな防災設備

防災トイレ

災害時にはマンホールのフタをはずして便器を取り付け、他人から見られないようにテントを張って使用します。



かまどベンチ

普段はベンチとして使用していますが、災害時には座る部分をはずすと“かまど”になります。

これで火を起こして、炊き出しなどができます。



■公園にあるいろんな防災設備

ソーラー発電の公園灯

停電した場合でも、ソーラー発電により、公園灯を照灯することができます。
この灯かりを目印に避難場所を特定できます。

スマートフォンの充電など、非常用電源として利用できる製品もあります。



防災パーゴラ・防災四阿（あずまや）

普段は休憩所として使われるパーゴラや四阿ですが、災害時にテントを張ることができるものがあります。

雨風を防いでくれたり、救護所として利用できます。



■公園にあるいろんな防災設備

防災倉庫

飲用水・非常食・どのう袋など、
災害時に必要となる物資を備蓄します。



グループワークの準備

気になる人や近くの人と

4人グループをつくろう！

グループができたら、**後ろのテーブルへ移動！**

グループワーク①

この町に
こんな場所あったら
うれしい！

をふせん紙に書いてシェアしよう。

時間：10分

質より量！

経験・妄想
OK！

のっかり
歓迎！

自由に！

否定は
ナシ！

グループワーク①

この町に、こんな場所あったら うれしい！

余裕があれば、

「それはなぜ？」の要素を深めよう

グループワーク②

この場所で

こんなことしたい！

をふせん紙に書いてシェアしよう。

時間：8分

質より量！

経験・妄想
OK！

のっかり
歓迎！

自由に！

否定は
ナシ！

グループワーク②

この場所でこんなことしたい！

余裕があれば、

その背景や目的を考えてみよう

グループワーク③

まずはこれまでの**アイデア**を
分類・グループ分けして
キーワードを
模造紙に書き出してみよう

グループワーク③

この公園でみえる未来の風景

を想像してみよう。

これまでのアイデアをヒントに、
新しい公園で起こるといいなという出来事や景色を想像。
日常的一幕、誰と誰のこんなやりとり。物語をつむぐ。

時間: 20分

模造紙に
追加しよう

絵でも
単語でも

みなさんのアイデアを
発表！

ありがとうございました！

アンケートのご協力もよろしくお願いします

お名前

常 田 ゆ ず

常陸大宮の
好きなところ

道ゆく人と
さわやかに挨拶できる！

お名前

久慈丸

常陸大宮の
好きなところ

おいしい鮎！

お名前

大 宮 さくら

常陸大宮の
好きなところ

すぐ近くに満天の星空！